

がくげいかい  
一年 ささき りあ

わたしは、グループでだいほんをみないでよむれんしゅうをしました。セリフをわすれそうになったけど、わすれないでいえました。

ほんばんの日は、セリフをまちがえないでいえました。おはなをかんばつてもてました。

ほんばんでみんなちやうしたけど、さいごまでかんばりました。

学げい会の思い出  
一年 小柴 奏琉

ほとくの学げい会の思い出は「にじ」です。どうしてかという、ゆっくりなうたがだいすきだからです。

はじめてれんしゅうしたときは、リズムがわからなかったけれど、れんしゅうしているとリズムがじょうずになってきてうれしかったです。

れんしゅうがすすんでいくと、もっとリズムがうまくなりました。みんなとれんしゅうしていると、リズムがわかりました。じどうごうかい日は、しっほいしたころもあつたけれど、ほかはせいこうしてよかったです。

さいこのれんしゅうは、けっこうでまじりました。学げい会は、みんなとれんしゅうするとせんぶでできるようになります。えんそうをするのが、はじめてなので、ときどきしました。

らいねんは、どんな学げい会になるかたのしみです。らいねんも、みんなたのしい学げい会にしたいです。



学げい会の思い出  
三年 岩永 啓佑

ほへは、十月十五日土曜日に学げい会でけき「何でも引受かひ株式会社」をしました。ほへは、子ども役をしました。

練習の時は、台本のセリフをおぼえるのがたいへんでした。ランドセルやなわとびの小道具などをつかいました。本番では家そくやたぐさの人たちが見に来てとてもみんなちやうしたけど、せいこうしてとてもうれしかったです。

ほへが一番かんばつたことは、大きな声を出して動きをつけたことです。そのためたくさん動きを練習しました。

総練習の時は、ほかの学年のけきも見ておもしろかったです。ほへたちの学年のときは、全学年に見られてとてもみんなちやうしたけど、ほへたちのけきは、とてもみんなちやうしたうれしかったです。

本番の時は、セリフがかんべきに言えるかとてもみんなちやうしたうれしかったです。来年は、早くセリフをおぼえてみんなちやうしないちやうします。



あきらめない学芸会  
四年 鳥羽 瑛人

学芸会ががんばった事は三つあります。一つ目は、下ミの歌です。ほへは、音楽がすこしにがてです。学芸会の下ミの歌の練習でわすれるところやリズムが速くなってしまるところがあります。練習でふりつけをしてだんだん楽しくなっていくって学芸会の練習が楽しみになっていきます。

二つ目は、エーテルワイスです。ほへは、リーダーがすきです。エーテルワイスの練習で、一つだけにながなぶんがあつて、そこだけできなくて家で練習してもできなかったけど、学芸会本番でできないけどひいてみたらきれいな音を出せました、かんべきにひきました。

三つ目は、U&Iです。ほへは、歌はずきですが、高い声を出すのは、にがてです。学芸会練習でもあまり高い声は、出せないで、家ですこし練習を重ねてやつの思い出で、児童公開日前日に出せて、児童公開日、学芸会本番できれいな美しい声が出せました。

こんご学芸会で下ミの歌やエーテルワイス、U&Iをいかして、歌やふりつけ、リーダーをきれいに出来るようにしたいです。

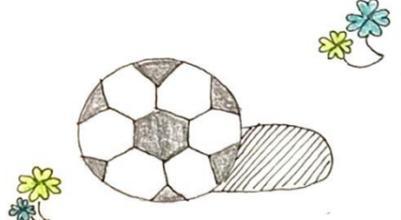
一年生学年レクリエーション  
一学年部長 黒田 秀美

一年生のレクリエーションを十月八日(土)に町民体育館で開催しました。一年生に楽しんでもらえるように5つゲームを考えました。

全員オセロ、ハンカチ落とし、だるまさんが転んだ、親子ボールリレー、しっぽ取りゲームの五つのゲームをおこないました。学芸会が翌週にあり体育館を使えないため、町民体育館を使わせて頂きました。コロナ感染症対策のため、手を消毒してもらい、紅白帽子を被ってもらいました。

全員オセロでは、一年生全員でおこない、二回目は皆でおこないました。丸い紙を裏、表にかえて楽しんでもらいました。ハンカチ落としでは、大人も子どもも競争し合い、元気に追いかけていました。だるまさんが転んだでは、子どもたちがとても速く、すぐにタッチされてしまいました。親子ボールリレーでは、女子チーム、男子チームと分かれておこないました。女子チームは慎重に投げていました。男子チームは、速くに投げていました。しっぽ取りゲームでは、しっぽを狙って元気に追いかけていました。

笑顔で一年生は最初から最後までおこなっていただきました。良い思い出になってもらえたと思います。  
ご協力して頂いた役員、先生、保護者の皆様、ありがとうございました。



学年レクリエーション  
三学年部長 川口 絵理

十一月五日土曜日、三年生の学年レクリエーションを小学校体育館で行いました。内容は、ミッションリレーと校内宝探しゲームをしました。

ミッションリレーは、子ども二チーム、大人二チームに分かれてミッションが書かれたカードを見てその場でミッションを行い、リレーをしました。大人はハンデとして少し難しいお題でしたが、子どもたちも頑張つて、子どもチームが勝ち盛りの上がりました。

宝探しゲームは、校内の色々な所に隠してあるカードを見つけるゲームです。すぐに見つけた子どもも、なかなか見付けられない子どもはヒントをもらい、探していきます。そのカードの番号順に景品を選んでお菓子をもらう仕組みでした。悩みながら選んでいましたが、喜んでくれたかなと思います。

不慣れた進行や準備不足で迷惑をおかけしたと思いますが、先生方、役員、保護者の皆さまのご協力のおかげで、まだまだコロナ感染が心配な中でも、学年行事を開催することができ、子ども達にも楽しんでもらえてよかったです。本当にありがとうございました。これからも子ども達との思い出を作り、成長の手助けをしていきたいと思っております。



笑顔いっぱい・元気いっぱい学年レク  
一学年部長 大浦 正貴

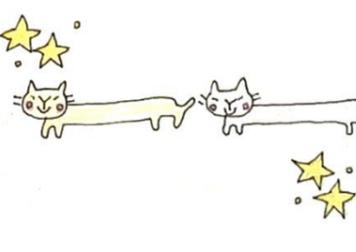
十月二十九日(土)、体育館で二年生の学年レク「ミニ運動会」を開催し、今回は六十五名もの皆さんにご参加頂きました。

今回の内容については、子どもたちがわかりやすく家族で楽しみやすいものについて色々案を出し合い、昨年度に実施して人気のあった種目も一部踏襲しつつ、役員や先生からの持ち込み企画を組み込みながら、楽しめる内容を考えました。

学年会レク当日は、うまく進行出来るか、みんなに楽しんでもらえるか心配もありましたが、ウォーミングアップに行った「しっぽ取り」や昨年度も好評だった「ジェスチャーゲーム」等、参加された皆さんがそれぞれの種目を楽しんで頂けたのではないかと思います。

今年度もコロナウイルス感染症対策を行い、様々な場面で制約がある中での開催となりましたが、皆さんのご理解と協力もあり、無事に終了することが出来ました。

今回、ご協力頂いた役員の方皆さん・先生・ご参加くださったご家族の皆さん、本当にお疲れさまでした。



『体と頭をつかって!』しっぽとり & 謎解きゲーム  
四学年部長 水戸部 基代

十一月十二日、今年も新型コロナウイルスに左右されながらも、頑張つて過してきた子どもたちにとって楽しい一日になるよう、感染対策を十分に考慮し、学年レクを開催しました。いつも元気な四年生、そして、ちょっと大人になった四年生。

体だけでなく、頭も使って仲間と協力し合う姿を見られるよう、三チーム対抗のしっぽ取りと、お宝を目指してみんなで謎解きゲームに挑戦しました。

チームごとに違う色のしっぽをつけてよいスタート!五分間、目一杯使つて走る、はしる!兄弟や、一本三点分のスペシャルしっぽを付けたお父さんを追いかけ、笑顔いっぱい楽しめていました。

次は謎解き。三教室に分かれてチームごとに違った問題に挑戦し、最後は全員で文字ならべ!アロシコ考えて意見を出し合う姿に、お子様の成長を感じられたのではないのでしょうか。無事にお宝をゲットした子どもたちからは、「だのしかった!」との声がききました。

正直、うまくいくのか、ドキドキしていたので、一安心でした。

オマケの謎解きもお家でまた、楽しんでいただけただけでしょうか。  
学年レクの開催にあたり、先生方、役員、保護者の皆様のご協力本当にありがとうございました。

来年度はもっと、のびのびと、行事を楽しめる日々が訪れますように。



「私の夢は、普通の大人になること。普通のお母さんになって、普通の子供を育てること。」  
このセリフの「普通」という言葉を強調させて言うところを練習の時にがんばりました。

観ている人によく聞こえるように、ゆっくりと大きな声で言うことを意識しました。本番では、観ている人の視線をすく感じて緊張しました。  
個人的には、よく出来たと思います。

合唱の時は、二番目のサビで手話を間違えないように、しっかりと確認したので、上手に出来ました。  
最後の六年生のあいさつで、残りの学校生活では...と言っています、

「あともう少しで六年生は卒業してしまふのだな」と改めて思いました。

学芸会が終わって家に帰ると、ママやパパが、  
「声が大きくて、聞きやすかったよ。」

と言ってくれて、私の学芸会の目標が大きな声でセリフを言うことだったので、とても嬉しかったです。

来年の学芸会も劇をやると思っているので、大きな声でがんばって、今年よりもっと良いものになるようにしたいです。



「ヤバイー！」  
何度この言葉が頭を混乱させたか。

私は、劇の最後の合唱でピアノの伴奏をすることに、約一ヶ月間ずっと中休み、昼休み、家でもずっと練習していた。でもなかなか思う通りにいかず心の中で私は、「クソー！」  
と、オオカミの遠吠えのように叫んだ。

「なんでこんなに練習しているのにできないのだから？」と考えたこともあった。家では、原曲に合わせて何度も何度も練習した。

そして児童公開日、色花さんと何回も何回も合わせたのに私は失敗した。  
家に帰り失敗したところを練習して、その次の日も色花さんと練習して合わせた。いよいよ最後の練習。みんなの歌と合わせて何回かやってみると、なんと大成功！今まで何回もやってきたのが全部出せてよかったと思った。

そしてついに本番。  
観客席を見てみるとすごい人数の人がいてびっくりした。

そして、  
「そう、僕たちは、世界に一つだけの花」というせりふがおわったらピアノの伴奏。わたしは、なぜか心臓ではなく胃がヒクヒクしていました。

そしてピアノの伴奏は、大成功。  
私は、今まですっかり失敗しても諦めないで練習してきて良かったなと思った。  
学芸会を通して、失敗しても諦めないで最後までがんばる大切さを学ぶことができた。

九月二十三日(金)に、五・六年学級レクを開催し、レク終了後六年生のお泊り会を開催いたしました。

五・六年学級レクではまず学校全体を使った『学校かくれんぼ』を行いました。普段なかなかできない大規模なかくれんぼで、子どもたちも楽しそうな様子でした。鬼を率先してやってくれる子や、かくれるのが上手な子、兄弟や小さな子と一緒にかくれる面倒見の良い子など、みんなそれぞれ楽しんでる様子が見られました。

鬼を代え、何回か『学校かくれんぼ』をやった後は、フルーツバスケットならぬ『なんでもバスケット』を行いました。二時間ほど遊びまわってお腹が空いた頃、お母さん手作りのカレーを頂きました。とても美味しく、おかわりして食べられる子たちがたくさん作ったカレーも完食！ごちそうさまでした。

空腹を満たした後は『校内きもだめし』を行いました。お父さんやお兄さん方が協力してくれたお陰で、校内には怖い人だらけでした。飄々と進んでいく子や、泣いてしまった子、「キヤーーー」と脅かす側にとっては嬉しい悲鳴をあげて怖がってくれた子、様々でした。全員回ったあともう一回！とアンコールがあったので、希望する子たちで再びきもだめし。最後は怖い人たちと一緒に全員で記念撮影をして、5・六年学級レクを終了いたしました。

五年生解散後、六年生が学校に残りお泊り会を行いました。カードゲームを楽しみ、役員の私たちも参加しての絵しりとりや、シエスチャームは本当に楽しく子どもたちと一緒に盛り上がりました。夜は遅くまで楽しそうなお話もたちの声がきこえていました...

不慣れなことが多く、なかなかスムーズに進行できない点もありましたが、それでもこの学級レクやお泊り会が子どもたちにとって良い思い出の一つになれていたら嬉しいです。  
この学級レクのために協力いただいた先生方、役員の皆様、カレー作りをしてくれたお母さん、ジャガイモの提供をしてくれた瀧さん、きもだめしに協力してくれたお父さん、お兄ちゃん、そして参加してくれた保護者の皆様、兄弟姉妹のみんな、ありがとうございました。

6年生のみなさん  
卒業おめでとうございます  
みんなの夢

